

製品名: EphA1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10513**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	EPHA1 EPHA1; EPH; EPHT; EPHT1; Ephrin type-A receptor 1; hEpha1; EPH tyrosine kinase; EPH
別名	tyrosine kinase 1; Erythropoietin-producing hepatoma receptor; Tyrosine-protein kinase receptor EPH
遺伝子 ID	2041.0
SwissProt ID	P21709
免疫原	抗血清はヒト EPHA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 541-590

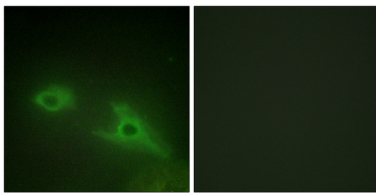
背景

この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体は、特に神経系において、発達イベントの媒介に関与していることが示唆されています。EPH サブファミリーの受容体は、通常、単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子は、一部のヒト癌細胞株で発現しており、発癌に関与していることが示唆されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。、機能: エフリン A ファミリーメンバーの受容体。エフリン A1 に低い親和性で結合する。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。チロシンキナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、類似性: 1つの SAM (無菌 α モチーフ) ドメインを含む。、類似性: 2つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。、組織特異性: いくつかの癌腫で過剰発現する。、

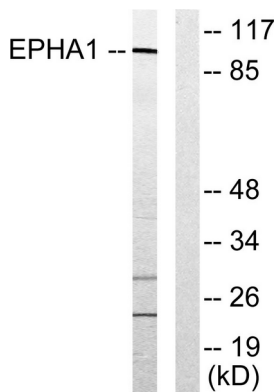
研究分野

軸索ガイダンス;

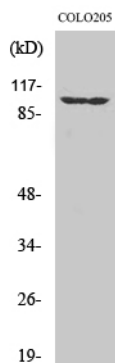
画像データ



EPHA1 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



EPHA1 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EphA1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

